

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名 サカタインクス株式会社
コード番号 4633 URL <http://www.inx.co.jp>

上場取引所 東 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高丸 博次

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 宮田 明夫

TEL 06-6447-5822

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	59,264	0.7	1,872	△27.2	2,468	△20.2	1,487	△12.6
23年3月期第2四半期	58,829	4.3	2,570	96.2	3,094	58.3	1,701	60.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △25百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △197百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	24.59	—
23年3月期第2四半期	28.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	88,919	36,817	40.5
23年3月期	87,049	36,866	41.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 35,978百万円 23年3月期 36,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	7.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	2.0	4,400	△12.9	5,200	△17.2	3,100	△17.5	51.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	62,601,161 株	23年3月期	62,601,161 株
24年3月期2Q	2,085,334 株	23年3月期	2,082,767 株
24年3月期2Q	60,517,080 株	23年3月期2Q	60,520,855 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定であります。

・平成23年12月1日(木)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、好調であったアジアに減速傾向がみられ欧米の回復ペースが緩やかとなる中、中東情勢を背景とした原油価格の高騰、欧米における景気停滞の懸念や失業率の高止まりなど、先行きが不透明な状況で推移しました。日本経済は、東日本大震災の影響による景気の急激な落ち込みから、復旧に伴って持ち直しの動きが続いているものの、円高の進行やデフレ基調の継続など依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、アジアを中心とした各拠点での拡販に注力し、環境配慮型製品の開発やコスト削減を図りました。また、原油価格の高騰に加え、印刷インキ全般の主要原材料価格の高騰に対しては、企業努力で吸収できる限界を超えていることから、グループ全体で販売価格の改定にも取り組みました。機能性材料では、インクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液、機能性コーティング剤の開発・拡販に取り組みました。

売上高は、円高による為替換算の影響を受けましたが、アジアをはじめとする各地域で印刷インキの拡販が進んだことから、592億6千4百万円（前年同期比0.7%増加）となりました。

利益面では、印刷インキ事業において、販売数量が増加したものの、販売価格の改定が一部にとどまり原材料高の影響を吸収できなかったことから、営業利益は18億7千2百万円（前年同期比27.2%減少）、経常利益は24億6千8百万円（前年同期比20.2%減少）となりました。四半期純利益は、特別損失が減少したことから、14億8千7百万円（前年同期比12.6%減少）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

（単位：百万円）

	売上高					営業利益又は営業損失（△）		
	前期	当期	増減額	増減率	(※)実質	前期	当期	増減額
印刷インキ・機材（日本）	30,154	29,322	△831	△2.8%	△2.8%	1,713	1,408	△305
印刷インキ（アジア）	6,569	7,779	1,210	18.4%	29.8%	260	187	△73
印刷インキ（北米）	13,436	13,408	△27	△0.2%	11.1%	171	△192	△364
印刷インキ（欧州）	2,748	3,046	297	10.8%	15.1%	104	119	15
機能性材料	3,207	3,323	115	3.6%	6.0%	227	175	△51
その他	5,403	5,786	382	7.1%	7.1%	33	136	102
調整額	△2,690	△3,401	△711	—	—	60	38	△21
合計	58,829	59,264	435	0.7%	4.8%	2,570	1,872	△698

(※)実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

①印刷インキ・機材（日本）

印刷情報関連では、メディアの多様化や広告の低迷により需要が減少する傾向にある中、第1四半期における震災後の広告の減少の影響が響き、新聞インキは前年同期を下回りましたが、オフセットインキは、拡販が伸展したことにより前年同期を上回りました。パッケージ関連では、フレキシインキは需要が低調で前年同期を下回りましたが、グラビアインキは、震災後の顧客の需要増加に対応したことにより、食品包装用を中心に好調に推移しました。機材につきましては、印刷製版用材料が国内印刷市場の低迷により低調に推移し、印刷製版関連機器は設備投資抑制の影響を受けて低調でありました。これらの結果、売上高は293億2千2百万円（前年同期比2.8%減少）となりました。

利益面では、貸倒費用の減少や徹底した経費削減が寄与したものの、印刷インキの販売価格の改定が一部にとどまり原材料高の影響を吸収できなかったことなどから、営業利益は14億8百万円（前年同期比17.8%減少）となりました。

②印刷インキ（アジア）

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、競争が激化する中、インド、ベトナムなどで拡販が進みました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けましたが、第1四半期より中国のオフセットインキ製造子会社（MAOMING SAKATA INX CO., LTD.）を連結の範囲に含めたこともあり、77億7千9百万円（前年同期比18.4%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加に加え、販売価格の改定効果が寄与したものの、価格転嫁の遅れにより原材料高の影響を十分に吸収できなかったことなどから、営業利益は1億8千7百万円（前年同期比28.1%減少）となりました。

③印刷インキ（北米）

オフセットインキは、メディアの多様化による需要減や価格競争の激化など厳しい状況にある中、拡販が進みました。主力のパッケージ関連では、北米や中南米などでのパッケージ需要の高まりに対応して拡販に取り組んだことにより、メタルインキが好調に推移し、フレキシインキは拡販が進みました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けた結果、134億8百万円（前年同期比0.2%減少）となりました。

利益面では、販売数量が増加したものの、販売価格の改定が大幅に遅れて原材料高の影響を吸収できなかったことなどから、1億9千2百万円の営業損失（前年同期は1億7千1百万円の営業利益）となりました。

④印刷インキ（欧州）

主力のパッケージ関連で、メタルインキが好調に推移し、グラビアインキは拡販が進みました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けた結果、30億4千6百万円（前年同期比10.8%増加）となりました。

利益面では、販売価格の改定が遅れて原材料高の影響を受けたものの、販売数量の増加により、営業利益は1億1千9百万円（前年同期比14.4%増加）となりました。

⑤機能性材料

デジタル印刷分野では、トナーは需要の低迷により低調に推移し、インクジェットインキは競争の激化に伴って北米での販売が振るわず全体としては低調でありました。画像表示材料分野では、競争が激化する中、カラーフィルター用顔料分散液が比較的好調に推移しました。また、機能性コーティング剤につきましては、売上が伸長しました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けた結果、33億2千3百万円（前年同期比3.6%増加）となりました。

利益面では、海外におけるインクジェットインキの販売が低調であり、原材料高などによるコスト増加も大きかったことから、営業利益は1億7千5百万円（前年同期比22.7%減少）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、時価評価により投資有価証券が減少したものの、売上債権やたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末比18億7千万円（2.1%）増加の889億1千9百万円となりました。

負債は、仕入債務や借入金の増加などにより、前連結会計年度末比19億1千9百万円（3.8%）増加の521億2百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の減少などにより、前連結会計年度末比4千9百万円(0.1%)減少の368億1千7百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権やたな卸資産が増加したことに加え、法人税等の支払があったものの、税金等調整前四半期純利益、仕入債務の増加及び減価償却費などにより、19億7千6百万円の資金の増加となり、前年同四半期連結累計期間に比べ2億4千2百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、日本、北米及びインドネシアなどでの有形固定資産の取得などにより、8億1千5百万円の資金の減少となり、前年同四半期連結累計期間に比べ4億5千8百万円の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより、4億7百万円の資金の減少となり、前年同四半期連結累計期間に比べ2億5千1百万円の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は47億7千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億2千3百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日に公表しました通期業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

当第2四半期連結累計期間の業績は、印刷インキの拡販が進んだものの、機材販売は低調に推移し、円高による為替換算の影響も受けたことから、売上高は当初予想を下回りました。利益につきましては、販売数量の増加や経費削減などにより原材料高の影響を吸収し、営業利益、経常利益ともに当初予想を上回りましたが、四半期純利益は株式相場下落に伴う投資有価証券評価損の計上により、当初予想を下回りました。

通期の業績予想につきましては、印刷インキ事業において、第3四半期以降に販売価格の改定効果が一段と寄与するものの、販売数量の伸びはやや鈍化する見込みであり、急激な円高の進行に伴って為替換算の影響も受ける見込みであることから、売上高は当初予想を下回る見込みであります。利益につきましては、想定以上の原材料高に対して販売価格の改定や経費削減などに取り組み、営業利益は当初予想から小幅な改善が見込まれるものの、為替差損及び当第2四半期までに発生した投資有価証券評価損を織り込み、経常利益、当期純利益は当初予想を下回る見込みであります。なお、前提条件として、海外連結子会社の収益・費用の為替換算にあたって影響を受けやすいUSドルにつきましては、第3四半期以降1ドル当たり平均で77.00円としております。

平成24年3月期通期連結業績予想の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成23年5月12日)	百万円 122,000	百万円 4,300	百万円 5,400	百万円 3,400	円 銭 56.18
今回修正予想(B)	120,000	4,400	5,200	3,100	51.23
増減額(B-A)	△2,000	100	△200	△300	—
増減率(%)	△1.6	2.3	△3.7	△8.8	—
前期実績(平成23年3月期)	117,663	5,049	6,276	3,757	62.08

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,758	4,781
受取手形及び売掛金	33,247	34,569
商品及び製品	5,841	6,245
仕掛品	720	708
原材料及び貯蔵品	4,039	4,711
その他	2,080	2,156
貸倒引当金	△414	△382
流動資産合計	49,274	52,790
固定資産		
有形固定資産	18,968	19,271
無形固定資産		
のれん	427	360
その他	1,142	1,095
無形固定資産合計	1,569	1,456
投資その他の資産		
投資有価証券	15,101	13,305
その他	3,165	3,278
貸倒引当金	△1,028	△1,182
投資その他の資産合計	17,238	15,401
固定資産合計	37,775	36,129
資産合計	87,049	88,919
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,212	20,068
短期借入金	6,897	7,223
1年内返済予定の長期借入金	1,619	3,607
未払費用	2,446	2,440
未払法人税等	600	749
賞与引当金	1,001	1,033
その他	1,905	2,569
流動負債合計	33,684	37,691
固定負債		
長期借入金	12,034	10,290
退職給付引当金	2,579	2,658
資産除去債務	68	69
その他	1,817	1,392
固定負債合計	16,499	14,410
負債合計	50,183	52,102

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,832	5,841
利益剰余金	31,032	32,302
自己株式	△637	△638
株主資本合計	43,700	44,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,743	569
繰延ヘッジ損益	3	1
為替換算調整勘定	△9,213	△9,571
その他の包括利益累計額合計	△7,466	△9,000
少数株主持分	632	839
純資産合計	36,866	36,817
負債純資産合計	87,049	88,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	58,829	59,264
売上原価	45,114	46,600
売上総利益	13,714	12,664
販売費及び一般管理費	11,143	10,791
営業利益	2,570	1,872
営業外収益		
受取利息	76	34
受取配当金	119	139
持分法による投資利益	469	474
その他	281	210
営業外収益合計	947	858
営業外費用		
支払利息	217	219
為替差損	176	—
その他	29	43
営業外費用合計	423	262
経常利益	3,094	2,468
特別損失		
投資有価証券評価損	261	114
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	86	—
特別損失合計	347	114
税金等調整前四半期純利益	2,747	2,354
法人税、住民税及び事業税	1,131	839
法人税等調整額	△99	20
法人税等合計	1,032	860
少数株主損益調整前四半期純利益	1,714	1,493
少数株主利益	13	6
四半期純利益	1,701	1,487

(四半期連結包括利益計書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,714	1,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△906	△1,134
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△949	△290
持分法適用会社に対する持分相当額	△57	△94
その他の包括利益合計	△1,912	△1,519
四半期包括利益	△197	△25
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△199	△46
少数株主に係る四半期包括利益	1	20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,747	2,354
減価償却費	1,227	1,216
のれん償却額	163	99
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20	△19
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	36	66
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36	8
投資有価証券評価損益 (△は益)	261	114
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	86	—
受取利息及び受取配当金	△196	△173
支払利息	217	219
持分法による投資損益 (△は益)	△469	△474
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,292	△780
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△986	△1,059
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,851	692
その他	△269	426
小計	3,321	2,689
利息及び配当金の受取額	262	260
利息の支払額	△218	△213
法人税等の支払額	△1,723	△759
保険金の受取額	92	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,734	1,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△852	△894
有形固定資産の売却による収入	5	4
投資有価証券の取得による支出	△236	△53
貸付けによる支出	△370	△15
貸付金の回収による収入	172	145
その他	7	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,273	△815
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	702	122
長期借入れによる収入	923	398
長期借入金の返済による支出	△1,241	△462
配当金の支払額	△363	△363
少数株主への配当金の支払額	△87	—
その他	△89	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155	△407
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50	△18
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	255	735
現金及び現金同等物の期首残高	3,116	3,753
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	287
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,372	4,776

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	30,141	6,568	12,792	2,742	3,149	55,394	3,434	58,829	—	58,829
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12	0	643	6	58	721	1,969	2,690	△2,690	—
計	30,154	6,569	13,436	2,748	3,207	56,115	5,403	61,519	△2,690	58,829
セグメント利益	1,713	260	171	104	227	2,477	33	2,510	60	2,570

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額60百万円には、セグメント間取引消去162百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△102百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役務提供費用であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	29,303	7,691	12,523	2,938	3,285	55,742	3,522	59,264	—	59,264
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	19	88	885	107	37	1,137	2,263	3,401	△3,401	—
計	29,322	7,779	13,408	3,046	3,323	56,880	5,786	62,666	△3,401	59,264
セグメント利益 又は損失(△)	1,408	187	△192	119	175	1,697	136	1,833	38	1,872

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額38百万円には、セグメント間取引消去132百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△93百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役務提供費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。